

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	子どもの語るあの世 : 「あの橋をわたって」の授業風景
Author(s)	宮田, 雅智
Citation	児童の言語生態研究 , 16 : 59 - 60
Issue Date	2004-02-10
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045192">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045192</a>
Right	
Relation	



## 授業スナップ

幼児にみるイマジネーションの発動性・連続性  
～あの世とこの世の橋渡し～

平成12年8月9日 山形県 米沢市 幸徳院 笹野保育園 年長組

特集

子どもの  
神性と野性

子どもへの指示

『目をつぶって心の中に橋を思い浮かべてください。  
そうしたら、その橋を渡ってみてください…』

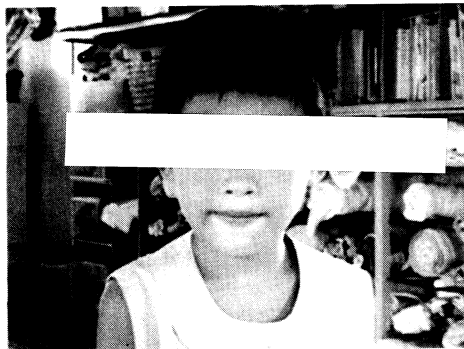
(一人一人部屋に呼んで橋を見立てて渡ってもらう)

まるい太い橋をわたったよ  
お父さんと一緒に  
楽しかった



緑色の橋が見える  
セミの声が聞こえた

ねずみ色の小さい橋を  
渡ったよ  
3本あったよ



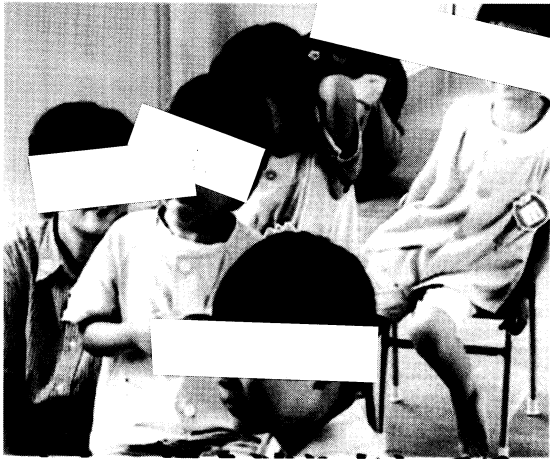
なんかー、石の強い橋  
なんかー、お父さんと  
お母さんと3人で渡った  
なんかー、森のスズメの  
巣のところに行って  
休んだの

「あの橋をわたって」の授業風景

# 子どもの語るあの世

宮田雅智

『みんながどんな風に橋を渡っていたかビデオで見てみましょう』



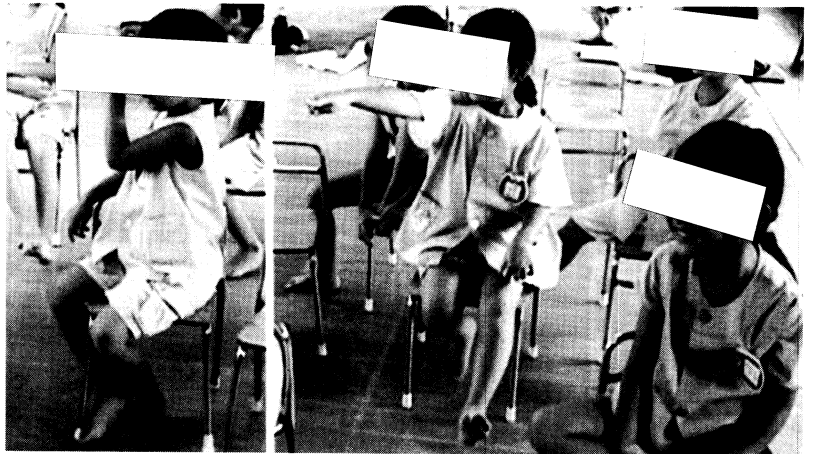
あれ？違う渡し方してる！



何で私と違うのかな？

当然友だちも自分と同じようにしていると思っていたのが、一人一人違うのにみんなビックリ！

でも、観ているうちに違っている事が当然なんだと思うようになってきて、それぞれの特徴を見つけることを面白がり始めました。



後半は「次はどんな風に橋を渡るのかな」とワクワクして観ていました